

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コモンチャイルドケア児童発達支援			
○保護者評価実施期間	R8年1月7日 ～ R8年1月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22人	(回答者数)	18人
○従業者評価実施期間	R8年1月7日 ～ R8年1月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日替わりのプログラムを準備し、様々な経験ができるように工夫している。自由遊びの時間を長く設定している。子どもたちが好きな遊びや活動をしながらコミュニケーション能力を伸ばしたり、一緒に遊ぶ楽しさを味わっていけるようにしている。	運動、製作、感触遊び、机上課題、SSTなどの曜日に来所しても様々な経験ができるよう準備している。子どもたちが楽しいと思えるところから成長を促している。 自由遊びの際は職員が傍につき一緒に遊べるよう促したり、見守りながら必要な時に仲立ちするようにしている。	毎月同じプログラムを取り入れているので飽きてしまっているプログラムもある。新しいものを取り入れていけるよう職員間で話し合っていく。
2	子どもたちが通っている保育園や幼稚園と連携を取り、お互いの事業所に見学に行き子どもたちについての情報共有や支援の統一化を図っている。 保護者面談を行い、送迎の時間だけでは話せない家庭での様子や困りごとなど話をする時間を設けている。	子どもたちとはもちろん保護者や子どもたちと関わる周りの方たちとも信頼関係を築き、子どもたちにとってより良い支援ができるようにしている。	園見学、保護者面談どちらとも年に一回行っている。保護者面談に関しては働かれていたり時間が取れない保護者もいて希望者のみとなってしまうている。方法を考え全員とじっくり話をする時間を作りたい。
3	共生型の施設なのでハロウィンやクリスマス等のイベントの際にデイサービスの利用者の方と交流をしている。 また、隣の部屋に放課後等デイサービスがあるので就学する4月から環境を大きく変えることなく移行することができる。	コロナが流行してからは年に2回ほどしか交流することができないが、デイサービスの利用者の方も子どもたちも交流を喜んでいる。 4月からスムーズに移行ができるよう年長の冬頃から放課後等デイサービスの部屋で過ごす時間を作っている。	放課後等デイサービスとの連携をさらに強化し、部屋で過ごすだけではなく活動に参加させてもらうなどして子どもたちが安心してスムーズに移行できるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎の短い時間でしか保護者との直接のやり取りができない。子どもたちのその日の様子を伝えることしかできず、家での様子や悩み事等聞き出すのが難しい。	帰宅する時間を伝えており自宅の前やマンションの下まで迎えに来ていただくので時間通りに送迎しなければならない。子どもたちが車内に乗った状態でゆっくり話をするのが難しい。	定期的に面談や聞き取りが行える時間を作る。送迎の順番を変えたりお互いがじっくり話ができる時間を確保する。保護者が相談しやすい環境を作り、保護者支援にも力を入れていく。
2	保護者同士の交流の場を設けていない。 保護者が事業所に来る機会が少なく、子どもたちがどのように過ごしているのかを直接見ることが出来ない。	働かれていたり来所するのが難しい保護者の方もいらっしゃるため検討していなかった。 平日のみの開所と事業所で送迎を行っているのでイベント等開催しないと来ていただく機会がない。	昨年は親子参加型のイベントを土曜日に行い、事前に予定を伝えておいたのでもたくさんの方に参加していただけた。保護者同士だからこそ話せることが多くあると思うので、今後はイベントを開催した後に懇談会を開く等保護者同士で交流できる場を作りたい。また、直接の話をする以外で交流できる方法を考えて保護者支援により一層力を入れていく。
3	事業所で行っている取り組みについて十分にアピールできていない。	事業所の強みや取り組みについては見学や契約の時にしか話ができている。保護者の方とは信頼関係を大切に、日々の様子を分かりやすく伝えるよう心掛けているが、プログラムに対しての意図や目的までの話はできていない。	送迎の際に日々の様子を伝えるとともに、プログラムや自由遊びの中での目的や成長への促し方も伝えていく。 公式LINEやブログ、インスタグラムを通じて事業所で行っている取り組みや強みについて全体へ発信していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 コモンチャイルドケア児童発達支援

公表日 年 月 日

利用児童数

29人

回収数

18人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1	1	2	トラブルになった際に子ども同士を引き離せなかった様子だったので少ないと感じる。	すぐに改善し、来所する子どもの人数に対して全体に目が行き届くように配置している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15			2	階段だけが気がかりです。	階段の上り下りの際には職員が側につき、必ず手すりを持つよう声を掛けている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17			1		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	2	1	2	まだ子どもが口に物を入れてしまう年齢だが、製作の際にキラキラのスパンコールのような子どもが誤って飲み込んでしまったら危険なものを使っており不満を持った。	製作等は職員が必ず側について行っているが保護者の方を不安にさせてしまっている。リスク管理を徹底し、事故が起らないよう体制を整えていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16		1	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16		1	1		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1	1	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	2		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1		1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	1	8		
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	2				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	2	1	2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	3	4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	3			毎回様子を伝えてもらっているので安心できる。	送迎時の短い時間だが、今後も子どもたちが頑張ったことやその日の出来事をしっかり伝えていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	5	2	4		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	5	8	もしあれば参加したいです。夏祭りなどの家族も参加した開所はとても良かったです。	今後も家族参加型のイベントを計画するとともに保護者同士で交流ができる保護者会や茶話会の検討をする。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2	1	2		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	2	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	1		定期的に写真を送っていただき、とてもありがたいです。 LINEで配信されるので分かりやすいです。	引き続き定期的に写真や様子を送り子どもたちの過ごしている様子を見ていただく。 行事や全体連絡は公式LINEでお知らせしている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	3		7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	3		9		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	4	1	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12		1	5	他の子どもとトラブルになった際にこちらが我慢するような対応だったので不満を持って抗議したら変更してくれた。	事故や怪我が発生した際には速やかに報告するとともに、最善の対応を考える。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17			1	ずっと電車で遊んでいると聞くので楽しんでいるか心配になる。	伝達不足だと感じる。送迎時の短い時間ではあるが一人ひとりの成長を感じられることや頑張っていること等しっかり伝えていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17			1	とても楽しみに通っています。 とても楽しく通所させてもらっています。 行き渋りもなく課外イベントも積極的に参加したがつている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	2			本当にいつもありがとうございます。 いつもありがとうございます。 一人ひとりに合った支援のおかげで成長を感じられる。本人が楽しく通えているようなのでとても満足している。	今後も保護者や子どもたちの周りの方たちと連携を取りながら一人ひとりに合った支援をしていく。子どもたちが安心して楽しく通える場所にしていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
コモンチャイルドケア児童発達支援		年 月 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		絵カードや写真で視覚化して子どもたちに分かりやすく配置している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃をしていて明るく清潔な環境づくりを目指している。感染症対策にも力を入れている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期で保護者への案内や聞き取りをしている。	保護者向け評価表の中でたくさんの意見をいただいた。参考にしながらよりよい支援ができるようにしていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		適宜支援の方針を相談できている。 ミーティングを定期的に開催している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人では月に一回必ず研修があり、外部の講師を招くこともあり充実している。 外部での研修にも参加している。	定期的に研修は行われているが、全員が参加できている訳ではないので全員が参加できるようにしていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		子どもたちが楽しみながら成長できるプログラムを日々設定している。 公式LINEでプログラムを公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		子どもたちに合った支援計画の作成を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			社員だけではなく、パートの方も含めて職員間で話し合う時間を設けそれぞれの子どもたちへの支援を統一化できるようにしていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			現在はパートの方たちへしっかりと説明できていないので時間を設けて全員が共通認識できるようにする。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々のプログラムを工夫しながら標準化の中で確認ができている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			季節のイベントはチームで行っているが日頃のプログラムは任せっきりにになっている部分があるので話し合っ決めていく。

児 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		プログラムや備品も単純化しないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前日までにはチームへの連絡が行われている。 打ち合わせは行っていないが事前に共有や対策は行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		打ち合わせは行っていないがその日のうちに共有するようにしている。	打ち合わせやミーティングをこまめに行い、職員全員で周知する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		直接支援をしている職員が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		幼稚園や保育園を訪問し、園での児童の様子を確認している。園の先生方に事業所にきていただく機会も設けた。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		幼稚園や保育園への送迎時に児童の情報を共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	子どもたちが移行する放課後等デイサービスへの情報共有は行なっている。	今後はやり取りができるようにしていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				連携を取りながらよりよい支援ができるようにしていく。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	お互いの事業所への見学へ行き、児童の様子を見たり情報共有をした。他の子どもたちとの交流は行っていない。	今後は実施していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の送迎時やLINEで様子を伝えるようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		現時点では情報共有のみしか行っていないので実施していきたい。 ニーズに踏まえて検討していきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			書面での同意を得ているがじっくりと説明ができていない。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎の際の様子で保護者の不安感を感じたらチームに共有している。 保護者面談を実施している。	職員間で話し合い保護者の方にも安心して利用してもらえる施設にしていける。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		ニーズを踏まえて検討していきたい。 今後保護者会や茶話会等保護者同士の交流を深める会やきょうだい同士での交流ができる場を設けたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		職員間で速やかに共有し、対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		活動の様子をブログやInstagramで発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	ハロウィンやクリスマス等のイベントがある際にはデイサービスの利用者との交流をしている。	感染症に気をつけながら今後も続けていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員だけではあるが避難訓練を実行した。 マニュアルを作成し、対応できるようにしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者と情報共有し、職員間で周知している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		再発防止、改善提案を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年研修に参加している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			